

ふれあい福祉

第30号

平成22年3月15日発行
社会福祉法人
高梁市社会福祉協議会
・高梁総合福祉センター内
・電話 (0866) 22-7243



とってもあったかい『笑顔』だね！

手作りの『ねずみたたき』で遊びました



布寄小学校児童の皆さんありがとう！

2月26日、布寄小学校（成羽）の児童11人が、グループホームささゆり苑に『笑顔』を運んでくれました。

児童たちは、この日の訪問をとっても楽しみにしていて、手作りの『ねずみたたき』や『ボール投げ』で入居者と一緒にあそびました。

この日、ささゆり苑の入居者たちは児童からとってもあったかい『笑顔』のプレゼントをもらいました。

もくじ

ふれあいサロン活動、赤木五郎賞、山川ボランティア顕彰 ……(2)～(3)
ボランティア研修会を開催、平成21年度会費について等 ……(4)
福祉出前講座の開催 ……(5)
ふれあい福祉講座 ……(6)～(7)

地域福祉活動報告、歳末たすけあい募金、赤い羽根共同募金 ……(8)～(9)
福祉施設の作品展示コーナー、ふれあい相談と援助 ……(10)
寄付 ……(11)～(12)

積極的に支援しています

2010

ふれあいサロン活動

川面町

中市場ふれあいサロン



一月二十日、中市場集会所で中市場ふれあいサロン会員八人が集まって、座談会をしました。同サロンは会員が気軽に参加できるように毎月一回情報交換を行っています。

この日は、ひ孫からお年寄りまで幅広い年齢層の集まりとなり、育児や家事、ご近所のことや自分達の悩み事など話題が豊富で、とても楽しい会となりました。

毎月集まって、皆さんと色んな話をするので、ささえあい・たすけあいの気持ちが強くなります。会員からは「一人暮らしの方の見守りや声かけができるようになった」や「自分の悩み事もみんなに話すことで気持ちが楽になる」といった感想があり、笑顔いっぱいサロン活動を行っています。

また、同サロンは他に地元の祭りやクリン作戦、季節行事等にも積極的に参加しています。

巨瀬町

園尾部落ふれあいサロン



十一月十日、巨瀬町園尾集会所で、巨瀬町園尾部落ふれあいサロン会員二十二人が集まり交流しました。同サロンでは、お互いに健康な日々を送るため、また生活の中に笑いをもち、楽しく暮らしていくため毎月一回集まり講師を招き、健康に関する勉強会を行っています。この日は、白和荘在宅介護支援センターの方に来ていただき、福祉についての話をしてもらったり、福祉用具の説明を聞きました。

玉川町

上野上サロン



十二月二日、玉川町増原の上野上集会所で、会員八人が集まりました。

この日は、本市社会福祉協議会の職員も出席させていただき、地域福祉サービスの内容や利用方法を説明いたしました。

会員の皆さんは熱心に耳を傾け、自分の関心のあることや気になる内容について積極的に質問をしていました。

その後、童謡をカルタにした「思い出カルタ」で楽しみ、和気あいあいと有意義な時間を過ごしました。

成羽町 小泉げんき会



一月三十一日、成羽町小泉憩いの家で、小泉げんき会の会員二十四人が集まり、健康指導とゲームで交流しました。

今回は高梁市成羽地域局の保健師を講師に招き、脳の活性化についての講話がありました。

その後「福笑い」や「ジグソーパズル」等のゲームでは、時間の経つのも忘れ、大変盛り上がった会となりました。

同会代表の山本智雄さんは、「この会が会員皆さんの心と体の健康の一助になることを願っています」と笑顔で話されていました。

また、この日は、地域の栄養委員による手作りのお弁当を食べながら、和やかに歓談することができました。

高梁 ここにこママの ぼかぼかふれあい サロン



十二月二十五日、高梁幼稚園のホールで、ここにこママのぼかぼかふれあいサロン会員が集まり、遊具を通じて親子で交流しました。

このサロンは「無理せず気楽に楽しく続けられる会にしよう」をモットーに、勉強会や子育てについての話し合いや調理実習、公園遊び等幅広く活動しています。

この日は、会員十一人と子ども二十六人でトランプポンやすべり台、ボール遊び等で交流し、ホール内には元気な声が響きわたり、笑顔いっぱいサロンとなりました。

また、同サロンでは年一回、通信『ゆるつと遊ぼう』を発行しており、活動内容や情報発信を積極的に展開しています。

お知らせ

平成21年度のふれあいサロン事業について、事業実施が完了されているサロンについて、実績報告書の提出をお願いします。
提出先は、本所地域福祉課又は各支所です。
また、併せて平成22年度の申請についても、気軽にご相談ください。

地域福祉分野に対する 永年の功績を称える

赤木五郎賞

二月二十四日、高梁国際ホテルで第九回赤木五郎賞の贈呈式が行われました。

この褒章は、保健医療・福祉・環境分野において功績の顕著な個人又は団体に対し、毎年行われています。

今回の受賞者の声

【福祉分野における功績】

森下 昌昭さん(川上町)



この度赤木五郎賞という大変すばらしい賞をいただき恐縮に思っております。

これを機にまた気持ちも新たに地域福祉活動を頑張っていきたいと思えます。

三宅 幹夫さん(川上町)



この度の赤木五郎賞の受賞ということで恐縮の極みです。

今後とも地域にご恩返しができるよう積極的に福祉活動を続けていきたいと思えます。

山川ボランティア顕彰

二月二十四日、高梁国際ホテルで平成二十一年度山川ボランティア顕彰の表彰式が行われました。

この顕彰は、地域社会福祉、保健環境衛生等厚生分野においてボランティア活動を続け、その功績の顕著な個人に対し、毎年行われています。

今回の受賞者の声

小野 晶子さん(浜町)



手話のみんなと活動をし、あつという間に十九年が過ぎました。

今後とも健康に留意してボランティア活動を頑張りたいと思います。

渡邊 功子さん(成羽町)



永年ボランティアを続け、手話サークルの仲間のおかげ、られこの日を迎えたことが、うれしいです。

今後とも仲間と共に楽しくボランティア活動をしていきたいです。

山室 千代子さん(川上町)



家族や地域の方が共に元気で幸せであってほしい想いからボランティアを始め、益々意欲的になりました。

今後とも元気で楽しく暮らせる社会づくりに貢献したいと思います。

広げよう！ ボランティアネットワーク

ボランティア研修会を開催

二月五日、社会福祉法人高梁市社会福祉協議会では、ボランティア相互の親睦と日々のボランティア活動を振り返り、新たなネットワークを構築することを目的に、高梁総合福祉センターでボランティア研修会を開催し、四十三団体から百二十五名の参加がありました。

この日は、昨年引き続き黒宮亜希子先生（吉備国際大学社会福祉学部社会福祉学科）を講師に招き、ネットワークマップ作りを行いました。

これは、個人または所属しているボランティア団体が地域とどのような関わりを持ち、今後どういった関係を持ち

たいか、個人または所属しているボランティア団体が地域とどのような関わりを持ち、今後どういった関係を持



黒宮亜希子先生の講話

つていくことができるかを図式化したマップを作成し、今後のボランティア活動に役立てるのがねらいです。

参加者は初めての作業に戸惑いを見せながらも、この日事例発表をしていただいた、山本都久子さん（高梁一―北配食ボランティアの会）と梅野潤子さん（青空の会）のお話や山本さん達が作成しているマップを参考に自分達のネットワークマップを完成させていきました。

今回の研修会では、普段会うことのないボランティアの皆さんが、それぞれの活動について情報交換することで親睦を深めるとともに、ボランティアの高齢化や担い手不足など共通の課題について認識する場となりました。

黒宮先生は「高齢化など尺度では測れない問題は、社会資源の活用や情報の交換によって解決され、地域福祉が豊

かになります。地域で安全・安心に暮らしていくためには、『つながり』がもたらすものは大きい」と、まとめられました。



自分達のネットワークマップを作っています

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会では、今後も研修会等を通じて高梁市内で活動する個人ボランティア及び団体の支援をいたします。

また、併せて新たなボランティア登録をお待ちしておりますので、気軽にお問い合わせ下さい。

〈問い合わせ先〉
地域福祉課（☎22-7243）
有漢支所（☎57-3218）
成羽支所（☎42-2005）
川上支所（☎48-9770）
備中支所（☎45-3131）

おしらせ
ボランティア活動保険
平成二十一年度のボランティア活動保険の補償期間が三月三十一日で終了となります。

四月一日から活動を始められる個人・団体の方は三月三十一日までに本所地域福祉課または各支所へ保険加入をお申し込みください。

平成二十一年度会費のご案内

市内の方へご協力をお願いしております平成二十一年度賛助会費について、多くの方からご理解・賛同を賜り、二月末現在で、七百六十七万円となっております。

この貴重な浄財につきましては、会員制度の趣旨のとおり福祉のまちづくりや地域福祉活動の推進のために、ふれあいサロン事業やボランティアセンター活動事業等の事業へ活用しております。

また、年度当初より市民の皆様をはじめとして多くの方からお寄せいただいた賛助会費によって「ささえあい・たすけあい」の輪が広がり、地域福祉の維持・向上を図っております。

来年度におきましても、本年度と同様賛助会員の加入につきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

室内ゴルフセットの寄贈

高梁小学校児童会

二月二十六日、高梁小学校児童会の六人が、高梁総合福祉センターを訪ねし、レクリエーション用具の目録を本市社会福祉協議会平田会長へ手渡ししました。

それを受け、平田会長は「皆さんは楽しく明るい社会をつくるため、地球環境に協力すること、資源を大切にすること、大勢の人達の奉仕をすることの三つをこの一年間続けてこられた。本当に感謝しています」とお礼を述べました。

高梁小学校ではリサイクル意識の向上と奉仕の心を育てることを目的に児童会が中心となって、全校で空き缶の収集に取り組んでいます。

本年度は三百九十四kgのアルミ缶が児童や地域住民によって持ち寄られ、その収益金で室内ゴルフセットを購入し、贈呈しました。

児童からは「高小のみんなや地域の方々のおかげで早く回収ができました。高梁の皆さんに楽しく使ってもらいたい」と感想がありました。



社会福祉への知識と理解を深める

福祉出前講座の開催

本市社会福祉協議会では、学童・生徒の社会福祉への知識や理解、関心を高めボランティア活動のより一層の推進と啓発を図るために、市内の小・中・高等学校を対象にボランティア活動普及事業協力校を指定しています。今回は、三つの協力校と協力校外の一小学校で手話や高齢者疑似体験等出前講座を実施しました。

平川小学校（備中）

二月九日、三、四年生児童四人は、高齢者疑似体験学習を行いました。児童たち



ちは車椅子の体験をし、段差での移動や障害物の回避の大変さを体験しました。また、疑似体験では、おもりやサポーター等をつけ、歩いたり階段の上り下りをしました。実際に体験した児童から「普段の自分達は何気なく生活していたのと違い、お年寄りがこんなに変だとは思わなかった。今度から困っているお年寄りがいたら助けてあげよう」と意見がありました。

中井小学校（高梁）

二月三日、高梁市手話ボランティア会が中井小学校を訪問し、全校児童三十人と手話による自己紹介の方法と手話による歌を学びました。

同校での手話講座は今年度で二回目。昨年手話を体験した児童たちは、手話をしっかり覚えていて前回よりも楽しく手話を実践していました。児童たちは「早速、今日教わった手話による歌を家族にみせたい」や「もっと



手話を覚えて地域の方と交流を図りたい」等の感想がありました。また手話ボランティア会員も「今回も児童の皆さん方と楽しく手話ができてとてもうれしかったです。次回訪問させてもらうときは、児童の皆さんはさらに上達しているでしょうね。楽しみです」と感想を述べられました。

西山小学校（備中）



一月十四日、備中町手話ボランティア「ほたるの会」が西山小学校を訪問し、全校児童十三人と手話による自己紹介や手話による歌等の出前講座を実施しました。

特に童謡「ももたろう」の手話による歌では、お話も歌もみんな知っているため、児童たちは何回も繰り返し練習して、早く自分のものにしようと一生懸命でした。児童たちは「家に帰ったら家族に教えてあげたい」と話し、手話への関心がより一層深まった様子でした。

川上小学校（川上）

一月十五日、川上小学校で三年生児童二十八人は、授業で「おじいちゃん、おばあちゃん」と仲良くなるうの学習をしており、この日は実際にアイマスクやサポーター等を使っての高齢者疑似体験を行いました。

アイマスクを使って物を取るとき「よく見えないから、何をするにしても恐る恐るになつてしまう」等の意見ができました。児童たちはこの他に歩行体験も行い、体験を通じて高齢者へのいたわりの気持ちを



持つことの大切さを学びました。この日の体験をもとに、二月十七日と二十日に川上いきいき交流館に訪問しました。以前よりいたわりや思いやりのやさしい気持ちを持って、おじいちゃんやおばあちゃんに接することができ、利用者からは「児童のみなさんのやさしさがありがたかった」と感想を述べられました。

積極的に 福祉出前講座を推進します。

ボランティアの皆さんの積極的な活動により、児童や市民の方々のボランティアに対する関心と意識が高まっています。この活動を盛り上げていくため、要望がありましたら出前講座を行いますので、ご連絡ください。

お問い合わせ先

- 地域福祉課 (☎22-7243)
- 有漢支所 (☎57-3218)
- 成羽支所 (☎42-2005)
- 川上支所 (☎48-9770)
- 備中支所 (☎45-3131)

たあけあい・ささえあい

誰もが安心して暮らせる地域福祉を目指して

ふれあい福祉講座



い福祉講座

いきいきと長寿に

社会福祉法人

高梁市社会福祉協議会

会長 平田重光

すべての人々が健康で文化的な生活を送り、生きがいのある生活を送るために社会全体で「ささえあい・たすけあい」が必要であり、お互いに助けあう「互助」の活動を本市社会福祉協議会で推進しています。そして、市民の皆様が地域福祉の大切さをご理解いただき、誰もが安心して暮らせる地域福祉を目指します。

社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会では二月二十五日、高梁総合文化会館で平成二十一年度「ふれあい福祉講座」を開催しました。少子高齢化により一人暮らし、高齢者世帯が増加傾向にある中、高齢者や障害者の方が地域で安心していきいきと暮らせるよう、地域住民が福祉に対する理解を深め「ささえあい・たすけあい」が日常的に行われる福祉のまちづくりの推進に寄与することを目的に実施しました。

この日は、福祉委員をはじめ民生委員児童委員やボランティア団体、ふれあいサロン実施団体から約六百五十人の方が参加されました。

講

座

左から近藤市長
山縣市議会議長
田中民児協会長



来賓

田副会長
長
長



福祉委員体験発表



福祉委員 有漢町福祉委員連絡会 佐分利 義孝さん

佐分利さんは、有漢地域での福祉委員としての活動や役割の重要性について発表しました。特にふれあいの場づくりとしてのサロン活動への取組みやボランティア活動への積極的参加や声かけ運動など、地道な活動こそが町内会を支えていくと話されました。



福祉委員体験発表



福祉委員 玉川町福祉委員連絡会 西 時江さん

西さんは、横の連携を大切に互いに協力し、「見守りと声かけ」を心がけ、「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」という皆さんの願いを叶えるため、無理のないところで細く長くをモットーに福祉委員としての役割を果たすよう頑張っていますと話されました。



福祉のまちづくり

ふれあ

ふれあいサロン事業 事例発表



田原地区園芸クラブ(備中町) 江草 壽さん

江草さんは、四季の草花を育て地区内の方に提供し、楽しんでもらったり、同地区内の環境美化を行っていることやふれあいを深めるため情報交換に力を入れ、悩みごとの相談や話し相手になっていることなど発表されました。



ふれあいサロン事業 事例発表



中野ふれあいサロン(成羽町) 吉田 たじみさん

吉田さんは、現在女性8名で活動しており、ふれあいサロン新聞を年6回発行したり、80歳以上の方に絵手紙の暑中見舞いや年賀状を出したり、地元民生委員さんやボランティアの方と協力を得て、ふれあい訪問や会食会を実施していること等を発表されました。



ふれあいサロン事業 事例発表



マーガレットサロン(川上町) 大内 周子さん

大内さんは、会員8名が中心となり民生委員や福祉関係者と連携を図りながらニュースポーツや室内でのゲーム大会の開催し、相互の健康維持・体力づくりを図ったり、お弁当を作ったの友愛訪問活動を行い、住民相互の親睦を深めていることなどを発表しました。



記念講演・落語



落語家 笑福亭 学光 師匠

「笑って笑ってお元気に!」と題した記念講演では「自分が楽しくないとボランティアはできない。何でもやってみることが大切」「やる前から出来ないと決めつけないこと」等講話がありました。

また、会場のみんなで歌を歌ったり、後出しジャンケンをして頭の体操したり、腹話術や南京玉すだれ、落語等で「笑うことは健康につながる」と、舞台と会場が一体化した笑いがいっぱいの講演でした。



左から安 森下副会 平田会長



～地域福祉活動報告～

有 漢

小学生と昔遊びで交流
有漢地域老人クラブ女性部



小学生と一緒に楽しくお手玉

一月二十日、有漢地域老人クラブ女性部の六人が市立有漢東小学校を訪問し、一年生の児童十一人とお手玉やあやとりなど昔遊びを通じて交流しました。数え歌に合わせてお手玉を交互に投げる遊びでは、始め児童たちは二個のお手玉を投げて捕ることさえ難しいようでしたが、次第に慣れ、上手に歌に合わせて投げることができるようにな



あやとりも楽しくできました



富家小学校児童による
遊び道具の寄贈

りました。またあやとりは、児童たちから老人クラブのみなさんに教えてあげ、教室は笑顔いっぱいにあふれ、とても楽しい時間となりました。

有 漢

伝統行事で地域の絆
有漢地区社会福祉協議会

一月十四日、とんど焼きが有漢地域内のあちらこちらで行われました。このとんど焼きは正月の神様を空に送り出して無病息災を祈願するもので、この日は子どもからお年寄りまで大勢の人が集まって竹の先に挟んだお餅を焼いたり、子ども達が書いた書初めを燃やして字の上達を願いました。



有漢地域伝統行事のとんど焼き

とんど焼きは室町時代から続いているものですが、参加した方から「この伝統行事を継承することが、地域のふれあいやたすけあい活動の原点となっています」と感想がありました。有漢地区社会福祉協議会では、このような町内会活動に対して、集落福祉活動事業として助成金を交付しています。

利用者には「本当にありがたい。いただいたものはもちろんですが、児童達のあたたかい気持ちも大切にしたいです」と感想を述べられました。また児童会よりアルミ缶リサイクルの収益金で購入した新十扇（しんとうせん）とアイロンビーズの寄贈がありました。利用者は「本当にありがたい。いただいたものはもちろんですが、児童達のあたたかい気持ちも大切にしたいです」と感想を述べられました。

高 梁

昔懐かしい曲の演奏と優雅な踊りに魅了
巨瀬デイサービスセンター



城山会による琴の披露

一月四日、巨瀬デイサービスセンターで毎年恒例の新年会が開催されました。また、一月四日から二十八日までの五回にわたり、ボランティア団体「城山会」の皆さんによる琴の演奏と「虹の会」の皆さんによる優雅な踊りが披露されました。利用者の方は、琴の音に合わせて歌ったり、ボランティアの方の踊りに合わせ

て手拍子をうったりして、お正月の気分を満喫していました。利用者から「ボランティアの皆さんのおかげで今年も楽しくお正月が迎えられた」と話されていました。



虹の会による踊りの披露

備 中

新十扇・アイロンビーズ寄贈
備中デイサービスセンター

二月二十四日、備中デイサービスセンターへ富家小学校五、六年生児童二十四人が訪れ、利用者と交流しました。まず始めに、児童によるリコーダーの演奏発表や詩の朗読が披露されました。その後、ふれあいタ

～地域福祉活動報告～

ご協力ありがとうございました

歳末たすけあい募金

平成二十一年度の歳末たすけあい募金は、市民の皆様から一、四六二、二八円の募金をご協力いただきました。歳末たすけあい募金は、新たな年を迎える時期に、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開することを目的に、難病や人工透析の方及び在宅寝たきり高齢者等に慰問金として、またボランティア団体、福祉団体に対して配分をいたしました。

皆さんの善意の心の合計額
募金額 **2,461,118**円

赤い羽根共同募金

平成二十一年度の赤い羽根共同募金に、市民皆様のあたたかい善意により多くの募金が寄せられ、募金額は六、四二七、九四九円となりました。内訳については、次のとおりです。この募金につきましては、岡山県共同募金会へ送金し、平成二十一年度に配分が受けられる予定です。ありがとうございます。

皆さんの善意の心の合計額
募金額 **6,417,949**円

戸別募金	4,632,840円
街頭募金	40,922円
法人募金	905,500円
学校募金	32,703円
職域募金	662,400円
その他募金	143,584円

川上

ボランティア団体と交流
川上デイサービスセンター

十二月十日、ボランティア団体の津川銭太鼓クラブが川上デイサービスセンターを訪問し、利用者達は同クラブ員の艶やかな衣装と銭太鼓の心が弾むような軽やかなリズムに魅了されました。また一月十九日には、高梁ハーモニカ倶楽部の訪問があり、同倶楽部が奏でるハーモニカに合わせ歌ったり、お手玉をしたりと楽しいひとときを過ごしました。



銭太鼓で利用者を魅了

成羽

もちつき慰問
グループホームささゆり苑

二月十日、成羽町のかぐら街道布寄直売所のメンバー七人がグループホームささゆり苑を訪問し、餅つき慰問をしました。この日は、同組合員の方がもち米やあんこ等の材料と臼と杵の道具を持ち寄って、力強い掛け声とともにお餅をつき始めました。皆さんの掛け声によってつき手の杵も勢いを増し、あつという間に餅つきが終了しました。



ささゆり苑で笑顔で餅つき

続いて入居者と一緒につきあがったお餅の中に手際よくあんこを詰めていきました。その後、餅つきの労を労いながら、皆で一緒につきたてのお餅をおいしくいただきました。



入居者と一緒にあんこ詰め

おしらせ

事業実績報告書の提出をお願いします。

平成二十一年度に事業助成を申請され、実施完了された団体の方は、実績報告書の提出をお願いします。また、平成二十二年事業助成の申請についても、お気軽にご相談ください。

▼福祉・ボランティア団体活動助成
▼学童・生徒のボランティア活動普及事業

ボランティア活動保険

ケガのための入院を事故の日から180日まで補償
ボランティア自身の食中毒・熱中症・特定感染症もOK
天災タイプでは地震・噴火・津波によるケガもOK

掛金
Aプラン.....280円
Bプラン.....420円
天災危険補償タイプもあります。
H22.4より改訂

安心を支えます

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償!



お問合せやご相談は・・・
高梁市社会福祉協議会

本所 ☎7243 有漢支所 ☎3218
成羽支所 ☎2005 川上支所 ☎9770
備中支所 ☎3131 まで

福祉施設の作品展示コーナー

備中



おひなさま

備中デイサービスセンターの利用者が千代紙で作成しました。

巨瀬



虎

巨瀬デイサービスセンターの利用者の方々の共同製作による作品です。ひまわりとかぼちゃの種と和紙で作っています。

川上



鶴

川上いきいき交流館の利用者が画用紙で作成しています。

川上



ポンポン人形

川上いきいき交流館の利用者が毛糸で作成しました。

平成二十二年 度

ふれあい相談と援助

種別	担当相談員	区分	4月	5月
高齢者サービス相談 福祉総合相談	常任相談員	高梁本所	12日、26日(月) 7日、14日、21日、28日(水) 高梁総合福祉センター	10日、24日(月) 12日、19日、26日(水) 高梁総合福祉センター
		有漢支所		
		成羽支所		
		川上支所		
		備中支所		
心配ごと相談	心配ごと相談員	高梁本所	2日、16日(金) 8日、22日(木) 高梁総合福祉センター	7日、21日(金) 13日、27日(木) 高梁総合福祉センター
		有漢支所	21日(水) 有漢農業構造改善センター	19日(水) 有漢ふれあいセンター
		成羽支所	23日(金) 吹屋公民館	28日(金) 成羽総合福祉センター
		川上支所		20日(木) 川上保健センター
		備中支所	21日(水) 備中高齢者生活福祉センター	
身体障害者相談	身体障害者相談員	高梁本所	1日(木) 高梁総合福祉センター	6日(木) 高梁総合福祉センター
		有漢支所		
		成羽支所		
		川上支所		
		備中支所		

☆相談予約・問い合わせ

高梁本所 ☎27243

川上支所 ☎489770

有漢支所 ☎573218

備中支所 ☎453131

成羽支所 ☎42005

☆相談時間 10:00~15:00

※プライバシーは完全に守ります。お気軽にどうぞ。

社会福祉協議会へのご寄付

22年1月～2月

ありがとうございました

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成22年1月と2月にいただいたご寄付についてお知らせします。心から感謝申し上げます。社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

〔香典・玉串料・御花料返し〕

《高梁支会》

- 金一封 津川町 杉江 功 (故・井上静子様)
- 金一封 中井町 惣田 昌和 (故・富世様)
- 金一封 弓之町 石田 泰之 (故・喜二郎様)
- 金一封 倉敷市 仲西 俊明 (故・良子様)
- 金一封 落合町 西本 仙次 (故・矢嶋オキヌ様)
- 金一封 松原町 西田 實 (故・スエノ様)
- 金一封 浜町 岡田 誠治 (故・治夫様)
- 金一封 川面町 平野ソエ子 (故・健作様)
- 金一封 落合町 丹下 章 (故・ます代様)
- 金一封 奥万田町 三村 碩男 (故・武雄様)
- 金一封 甲賀町 堀 貞尚 (故・美佐子様)
- 金一封 下町 長谷川定子 (故・善太郎様)
- 十万円 巨瀬町 平川 貞一 (故・智恵子様)
- 二万円 中井町 山下 康昭 (故・友吉様)
- 金一封 松山 梅野八重子 (故・誉様)
- 金一封 本町 市川 清

- 金一封 本町 後藤 潔 (故・登美代様)
- 金一封 津川町 小野 正志 (故・あや子様)
- 金一封 総社市 花田 美好 (故・エミコ様)
- 金一封 栄町 大江 悟 (故・和様)
- 金一封 巨瀬町 上森 昌巳 (故・辰美様)
- 金一封 松原町 政森 毅 (故・品代様)
- 金一封 中井町 内藤 正文 (故・晴様)
- 金一封 南町 嶋本定之介 (故・君恵様)
- 金一封 新町 斉藤 三秋 (故・由江様)
- 金一封 川面町 藤森 伸広 (故・ヨシエ様)
- 五万円 和田町 吉村 貞治 (故・みほこ様)
- 金一封 下町 土師 泰介 (故・明治様)
- 金一封 鍛冶町 吉田 尚子 (故・憲太郎様)
- 金一封 津川町 上田 晃 (故・明好様)
- 金一封 栄町 古谷 武士 (故・信一様)
- 金一封 落合町 中島 三郎 (故・千代子様)
- 金一封 津川町 岡野 優子

- 金一封 本町 落合町 森元 博文 (故・朋弥様)
- 金一封 松原町 森下 正夫 (故・政夫様)
- 金一封 川面町 松森 久子 (故・カネ子様)
- 五万円 川面町 伊達君枝様 (故・伊達君枝様)
- 金一封 川上町 中島 満 (故・誠様)
- 金一封 川面町 上田 誠 (故・博司様)
- 金一封 玉川町 嶋山 堅市 (故・丸橋達代様)

- 《津川地区》
- 金一封 津川町 藤森 武夫 (故・梅代様)
- 金一封 津川町 小野 正志 (故・あや子様)
- 《中井地区》
- 金一封 中井町 惣田 昌和 (故・富世様)
- 金一封 中井町 藤森 宣人 (故・昭子様)
- 金一封 中井町 飛田 達義 (故・昭子様)
- 金一封 中井町 太田井 護 (故・はず枝様)
- 二万円 中井町 山下 康昭 (故・輝美様)
- 金一封 中井町 澤 由紀義 (故・友吉様)
- 金一封 中井町 福田 茂 (故・學様)
- 金一封 中井町 内藤 正文 (故・大平梅枝様)
- 金一封 中井町 杉井 猛 (故・晴様)
- 金一封 中井町 嶋山 堅市 (故・類一様)

《玉川地区》

- 金一封 玉川町 嶋山 堅市 (故・丸橋達代様)

《宇治地区》

- 金一封 宇治町 田口 佳男 (故・京一様)
- 金一封 宇治町 大場 正康 (故・富男様)

《松原地区》

- 金一封 岡山市 中原 照子 (故・野田隆司様)
- 金一封 松原町 政森 毅

《落合地区》
金一封 落合町 西 和三
(故・治男様)

金一封 落合町 川上 薫
(故・進様)

金一封 落合町 森元 博文
(故・政夫様)

金一封 落合町 原 平松 恒代
(故・平松政夫様)

金一封 下原 耕作
(故・原田輝治様)

金一封 下原 黒川 敏平
(故・黒川裕恵様)

金一封 下原 石原喜一郎
(故・石原 隆様)

金一封 下原 丹治 博
(故・丹治キミコ様)

《有漢支会》
金一封 有漢 山縣 和正
(故・義夫様)

金一封 総社市 吉田 尚史
(故・きみこ様)

金一封 有漢 富士田 肇
(故・琴代様)

金一封 有漢 久保 信子
(故・貞雄様)

金一封 有漢 木本 満忠
(故・つるよ様)

金一封 上有漢 藤井 徹
(故・正夫様)

《成羽支会》
金一封 長 地 増永 珠恵
(故・黒川傳四郎様)

金一封 成羽 河上 浩二
(故・河上政司様)

金一封 成羽 丹正 時雄
(故・鐘築恵理様)

金一封 中野 水野 修二
(故・水野基一様)

金一封 成羽 山上 純
(故・健治様)

《落合地区》
金一封 坂本 向井 正
(故・向井浩一様)

金一封 岡山市 庄 達夫
(故・庄 公子様)

金一封 成羽 河内 秋子
(故・河内作一様)

金一封 下原 平松 恒代
(故・平松政夫様)

金一封 下原 耕作
(故・原田輝治様)

金一封 下原 黒川 敏平
(故・黒川裕恵様)

金一封 下原 石原喜一郎
(故・石原 隆様)

金一封 下原 丹治 博
(故・丹治キミコ様)

《川上支会》
金一封 下大竹 柏木 寿明
(故・茂樹様)

金一封 七地 泉 延江
(故・恒男様)

金一封 七地 大村 幸子
(故・栄様)

金一封 倉敷市 相原 賢治
(故・勉様)

金一封 地頭 本田 進
(故・健治様)

金一封 地頭 三村 麗子
(故・健治様)

《高梁支会》
金一封 中井町 逸見富士子
(退院内祝いとして)

金一封 巨瀬町 藤森 溥
(退院内祝いとして)

《宇治地区》
金一封 宇治町 川崎 幹子
(退院内祝いとして)

《有漢支会》
金一封 有漢 山縣 松子
(退院内祝いとして)

金一封 有漢 戸清 一雄
(退院内祝いとして)

金一封 有漢 藤井 利昭
(退院内祝いとして)

金一封 有漢 梁田 義之
(退院内祝いとして)

金一封 有漢 嶋田 正幸
(退院内祝いとして)

《川上支会》
金一封 下大竹 三宅 敏雄
(退院内祝いとして)

金一封 上川 明久
(退院内祝いとして)

金一封 高山 金高 勇雄
(退院内祝いとして)

編集後記

人と人とのコミュニケーションの中には「ぬくもり」があります。人は誰しも一人で生まれ、育つてきたわけではありません。人生のその時その時にたくさんの人から「ぬくもり」をもらって、現在に至っているはず。これからも自分達が受けてきた「ぬくもり」を他の人にもつと分け与えたり、もつと共有することができれば、このまちがもつとあたたかくなることでしょう。

「二十一世紀は心の時代」と言われて今年が十年目です。この「ぬくもり」をいつまでも忘れずに保ち続けていきたいものです。また、皆さんのたくさんのお「笑顔」あふれる記事や写真のおかげにより、以前よりも明るく親しみやすい広報紙を作成することができています。

一つの「笑顔」が次の「笑顔」を生んでいく。色んな地域で生まれた「笑顔」のリレーによって、このまちで一人でも多くの笑顔を見ることができるよう本市社会福祉協議会は、引き続きこの「ぬくもり」を大切にしていきたいと思っています。